

かかりつけ薬剤師・薬局の役割

第1回…「かかりつけ薬剤師をもちましよう」

日本薬剤師会で、健康に関することや処方薬・市販薬などについて身近で気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師」を選んで活用していただくことをお勧めしています。

さまざまな状況に応じて正しく使用しないと逆効果になる

日本薬剤師会では、健康に関することや処方薬・市販薬などについて身近で気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師」を選んで活用していただくことをお勧めしています。

さまざまな状況に応じて正しく使用しないと逆効果になる

きる一つの薬局を「かかりつけ」として利用されることをお勧めします。一つの薬局で様々な情報を継続的に管理しておくことで、薬を使用する際の安全性と有効性が格段に高まります。処方箋の調剤だけでなく、市販薬の選択、健康に関する相談などを通じて信頼できる薬局を選ぶと良いでしょう。

「かかりつけ薬剤師」を決めておけば、薬局での相談はもちろん、休日や夜間に薬について困ったことがあったときにも電話で相談できます。ご高齢で薬局に行くことが難しい場合には、ご自宅

で薬を受け取ることも可能です。かかりつけ薬剤師に継続的に薬の情報を管理してもらうことで、薬を受け取る時だけでなく、薬の使用中の体調変化についても気軽に相談することができま

す。また、かかりつけ薬剤師がいることで、医師に必要な情報を伝えてもらうことができ、その後のより良い医療につながります。

健康保険でも若干の窓口負担は生じますが（三割負担の場合60～100円増）、かかりつけ薬剤師を選ぶことができる仕組みがあります。いま利用されている薬局でご相談されるのも良いでしょう。



東京都新宿区

四谷3-3-1

(公社)日本薬剤師会

<http://www.nichiya>

ku.or.jp/